20220815

MARUNI

株式会社　丸二

ほんとうの、まるに。2022 | 創刊号

2022 | 創刊号

MARUNI

ほんとうの、まるに。

ほんとうの、まるに。のこだわり。

01 目次

02 創刊によせて　代表取締役 渡辺 偕規

04 特集1 RC進化系「RCフォレスト3.0」誕生

- RCフォレスト3.0 3つの特徴
- 安心・安全なRCフォレスト3.0
- Presentation とことん RCフォレスト3.0
  - 商品開発室 室長　鈴木 誉士
  - 設計室 一級建築士　石川 嘉和
  - 工事部 コストマネージャー　山川 公一
  - 工事部 部長　鈴木 康之

14 土地活用のモデル紹介　営業部 お客様サポートチーム

18 お客様訪問　建築主 的矢様 × 丸二 藤原 義和

22 特集2 丸二リフォーム ほんとうのトコロ

- データあれこれ公開します！
- リフォーム担当のスペシャリストトーク
  建築部 A.T. × 建築部 K.K.
- 「ありがとうボイス」ハガキ

28 丸二を支える人たち 職人矜持　其の壱　有限会社 山一タイル　代表取締役　山田 浩二

30 渡辺偕規が綴る 丸二ヒストリー　第一話　北の大地から

32 道楽倶楽部 其の壱

- ライダーズ　森尾 毅　大庫 規和
- 登山　元山 清貴　長嶋 絵美
- 山城　A.T.　鈴木 康之　山川 公一

40 丸二の人造り　代表取締役 渡辺 偕規

42 防災コラム

創刊によせて

1970年代から80年代、私が幼少期から少年期に観た映画の記憶は、今もなお、鮮明に心に刻まれています。当時の吉祥寺には、武蔵野映画劇場などの古き良き名画座が複数あり、映画好きの私にとってはパラダイスでした。「シェーン」「エデンの東」「明日に向かって撃て！」などの昔の映画を観て、胸が締め付けられるような感動を味わい、「スヌーピーの大冒険」「ラストコンサート」では、涙がボロボロと流れ、「エアポート'75」「タワーリング・インフェルノ」では、身を乗り出しながら、手に汗を握りました。このようにして私の情緒は、この街、吉祥寺で映画と共に育ったのだと思います。

学生時代に入ってからは、渋谷や新宿のロードショー館に行きました。当時封切の「ロッキー」「未知との遭遇」「スター・ウォーズ」「地獄の黙示録」「オール・ザット・ジャズ」「ヤング・ゼネレーション」などは未だに私のベスト映画群です。岩波ホールで、ポーランド映画「大理石の男」を観てからは、ヨーロッパ映画への興味の扉が開き、「ルートヴィヒ〜神々の黄昏」では、ヴィスコンティ映画の「美」を知りました。

そして今、私は、吉祥寺の建設会社の社長となり、25年が経ちます。子どもの頃から「スティーブ・マックイーンのようなヒーローになりたい！」と思いつつ、その真逆の人生を歩みながらも、「人や社会の役に立ちたい」「夢や感動を届けたい」「この街を守りたい」という強い思いは、今でも心の奥底で青々と燃え続けています。丸二という会社は、建物を造る建設会社ですが、ほんとうの丸二は、人を造る会社です。人々に、夢と感動と安心を届ける無名のヒーローたちを生み出す、ひとつの建設会社です。本誌『ほんとうの、まるに。』では、そのような丸二の日常を、明るく楽しく語っていきたいと思います。ありがとうございます。

代表取締役　渡辺 偕規

渡辺 偕規　わたなべ ともき（本名：智紀）

東京都武蔵野市吉祥寺生まれ。父（渡辺正一）の跡を継ぎ、33歳で「株式会社 丸二」の代表取締役に就任。少年時代（武蔵野市立第三小学校〜武蔵野市立第三中学校〜中央大学附属高等学校）は、野球、剣道、テニスなど、スポーツ好きな少年。大学時代（中央大学）は映画研究会で自主映画（8mm）を製作。最初の就職は中小証券会社の営業職。趣味は、映画＆音楽鑑賞と読書。音楽は、特にクラシック音楽とエレファントカシマシが好き。本は、夏目漱石や宮沢賢治を愛読し、松尾芭蕉や与謝蕪村などの俳句にも関心がある。家には愛犬（トイプードル）がいて、個人的な夢は「妻と2度目のヨーロッパ旅行」と「またいつか映画を撮りたい」。座右の銘は「雨ふらば降れ 風ふかば吹け」。

RCフォレスト

RC進化系「RCフォレスト3.0」誕生

RC造といえば丸二。
その集大成となるのが、「RCフォレスト」。
振り返ってみれば—

RCフォレスト1.0は「安くて良いもの」。

RCフォレストの原点は、「経済設計×標準施工」によるローコストRCマンション「エコノピア」。
大分方式[*1]を採用したローコスト技術で、多くの土地活用に採用されました。

RCフォレスト2.0は「他にはない良いもの」。

「エコノピア」をベース設計として、「ルネス工法[*2]」「外断熱工法」「健康仕様」などを付加した1.0の進化系。
「付加価値×オリジナル工法」による差別化RCマンションとして、
賃貸マンション、戸建住宅、コーポラティブハウスなどへの展開を果たしました。

そして、RCフォレスト3.0は「いつまでも良いもの」。

自然災害や感染症などの時代の潮流に対応し、
「RCの素材力×ミニマル思想×機能美」を追求した永続型RCデザインマンションです。
2.0をさらに研ぎ澄まし、引き算の発想で、
「防災性能」「容易性能」「道楽性能」を調和させた、原点回帰のRCらしいRC。
ほんとうに大切なものを大切にする時代の唯一無二の選択肢として、
「引き算で美しい」「美しくも強い」の価値を追求しています。

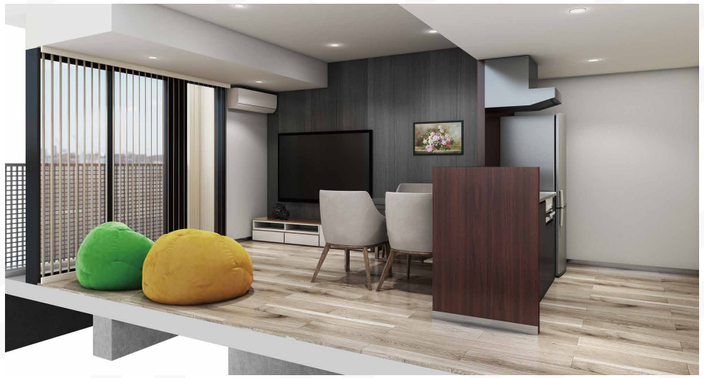
＊1 大分方式：大分県の設計事務所、建設業者を中心に開発されたローコスト化を目的とした施工方法
＊2 ルネス工法：「逆梁」という逆転の発想により、従来デッドスペースになっていた床下に広大な空間を創出する工法

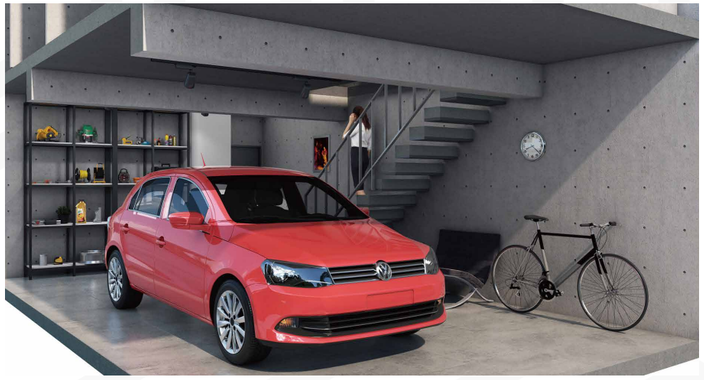
RCフォレスト3.0 3つの特徴

防災性 「頑丈」だけでは華がない

容易性 「安い」だけでは面白くない

道楽性 毎日精一杯「楽しく」ないと





安心・安全なRCフォレスト3.0

突然襲いかかる自然災害や、先行き不透明な日本経済。このような時代に、安心・安全とは何かを突き詰めていった結果、生まれたのが丸二の「RCフォレスト3.0」です。堅強かつシンプルな鉄筋コンクリートの躯体は、災害に強く、経年劣化や耐久性にも優れています。丸二は、高い技術力とコスト力、自由度の高いデザイン性で、「新思想RC」を提案し、そこに暮らす人々の安心・安全な暮らしと経済を持続可能にしています。

「防災・容易・道楽」を備えた新思想のRCフォレスト3.0

そもそも「RC」とはなにか──。これは英語の「Reinforced-Concrete」の頭文字をとったもので、いわゆる鉄筋コンクリートのことです。その鉄筋コンクリートを使ったのがRC造の建物であり、その最も大きな特徴と言えるのが、鉄とコンクリートの両方を使った強度としなやかさ、遮音性、水密性、耐久性──、これらをすべて併せもつことです。丸二では、これまでRC造を多くの建物に採用してきました。

そして、今回、蓄積されたノウハウを活かし、特徴をさらにブラッシュアップさせ「RCフォレスト3.0」を生み出しました。丸二のRCフォレスト3.0とは、「防災性」「容易性」「道楽性」を兼ね備えた、新思想のRC住宅（賃貸住宅・賃貸併用住宅・個人住宅・テナントビル）です。従来の住宅の概念ではなく、不要なものを一切排除した「引き算の発想」（ミニマル思想）をコンセプトとして、生活のために必要な最小限の仕様と機能美、その中に道楽性を取り入れています。

防災性

強固な防災性能を持ちつつローコスト

地震、台風、強風、火災、ゲリラ豪雨、水害、猛暑、大雪、寒波──。RCフォレスト3.0は、ありとあらゆる種類の自然災害から「生命」と「財産」を守ることができる高い技術の建築工法を取り入れた建築です。またRCフォレスト3.0は、強固な防災性能を持ちながらローコストであることも大きな特徴です。

容易性

技術を徹底研究し改良や創意工夫を

特徴は「使いやすい」「直しやすい」「メンテナンスしやすい」建物。例えば、配管を見せる仕上げにすることで、「壁をあけてみないとわからない」といった修理の難しさや「コストがかかる」といったオーナー様の負担を軽減でき、オーナー様の目的やユーザー様のライフステージに合わせた対応ができます。

道楽性

多様な“道楽”のある暮らしを応援

住まいには、安心と安全が不可欠ですが、それに加え、楽しく暮らす“道楽”の要素があることで、人生をより豊かにすることができます。RCフォレスト3.0は、車、バイク、自転車、ペット、楽器演奏、菜園、スタジオなどを楽しむ居住空間づくりをバックアップ。多様な“道楽”のある暮らしを応援します。

Message

人の命を守り、暮らしを豊かにする「RCの森」づくりを目指す

経験したことのない自然災害、疫病パンデミック、そして再びの戦争の時代がはじまり、私たちは不安と恐れの渦中を生きようとしています。「自らの生命の危険」が日々のリアルな現実と化し、「安心な生活」と「安全な住宅」の確保こそが、今を生きる私たちにとっての最優先テーマになってきました。災害時、テレビアナウンサーが「近くの頑丈な建物に避難してください」と呼びかけますが、その「頑丈な建物」とは一体何を指しているのでしょうか。

その頑丈な建物とは、地震、豪雨、水害、火災、台風、強風、熱波、寒波、大雪、噴火、津波、雹、ウイルス、害虫、あるいは人為の攻撃などの如何なる外圧にも耐え、暮らす人々を優しく包み込むものでなければなりません。シェルター、安全基地、帰還場所としての機能的空間性を持たなければなりません。長期の視点で、安心と安全を約束するものでなければなりません。更には、美しく、機能的で、どこまでも質素で、素朴な風情でなければなりません。私たちは、すべての人々にとって、毎日安心して帰ることのできる安全な生活場を、RCフォレストと名付けました。

RCフォレストは、ただ頑丈なだけではなく、日本人の美学とも言える「引き算の発想」「ミニマル思想」によって造形された機能美を有し、美しく建つ、ひとつの地上の礎石群（モノリス）です。私たちは、この街を安心安全で美しい生活場に変えていきたいと思います。RCフォレストを、一本の木になぞらえ、この街を美しいRCの森（forest）にしたいと思います。

コンクリートと森は、本来は相容れない性質のものです。けれども、この真逆のエレメントの陰陽合一こそが、新たな時代の鍵になると思います。美しいRCフォレストの一棟一棟（一本一本）が、この街（森）を豊かにかつ強固に形成し、自然や人々と共に年輪を刻みながら、暮らす人々を守り続けるのです。そして、この「守り続ける（ing）」のために、丸二のもう一つの顔であるアフターメンテナンス（森の守り人）の存在があります。

丸二は、人々の生命と生活を護ることのできる建物造りに燃えています。人と街を良心でつなげることに情熱を注いでいます。その結晶である良心の森、良心の礎石群が、RCフォレストです。だから私たちは、RCの森を造り続けるのです。

Sales

Presentation
とことんRCフォレスト3.0

RC造で叶えるガレージハウスを賃貸で

2年を超えるコロナ禍で私たちの暮らし方は大きく変化をしてきました。また、自然災害も年々そのスケールを大きくし被害も甚大化しています。自然災害が発生するたびにテレビからは「命を守る行動をとってください。頑丈なコンクリートの建物に避難してください」とアナウンスが流れます。RCフォレスト3.0を企画するにあたりあらゆる環境要因を考慮し、建物オーナー様にも入居者様にも最大のメリットを享受していただけるものは何かと考え、考え、考え抜いた末、導き出した結論が以下です。

開発視点！

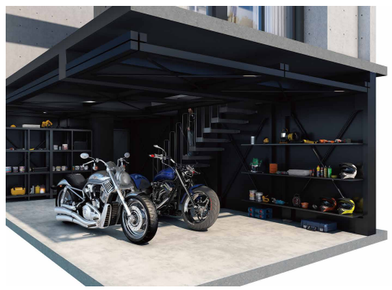
価値あるプロダクトを提供するための活動・仕組みを伝えます！

RC造＋3階建て＋1Fガレージ＋ローコスト

建物本体は現場打*のRC造とし様々な自然災害に耐えられる構造とします。入居者様の生活は2階にリビング、3階にプライベートルームとし水害対策、防犯対策も万全です。命を守る要塞としての目的だけでなく、1階を電動シャッター付きのビルトインガレージとして車やバイク好きのユーザー様はもとより、雨に濡れず車の乗り降りができ、ふだんの家事や育児の負担を減らしたいユーザー様の強い味方にもなります。

そして最大のポイントはオーナー様には建築費を可能な限り下げ利益を安定的に確保していただくため、入居者様にはリーズナブルな家賃で入居していただくための徹底的なミニマル化によるコストダウンを実現したことです。

私たちはこうしたメリットを享受できるオーナー様と入居者様を一人でも増やしていき、多くの皆様が鉄筋コンクリートの建物で安心・安全に暮らしていただくことを願いこのプロジェクトを進めてまいりました。



＊現場打（げんばうち）：現場で、「必要な鉄筋、型枠を組む」「コンクリートを流し込む」「コンクリートを固める」などをすること。

Presenter I 商品開発室 室長 一級建築施工管理技士 **鈴木 誉士** SUZUKI Takashi

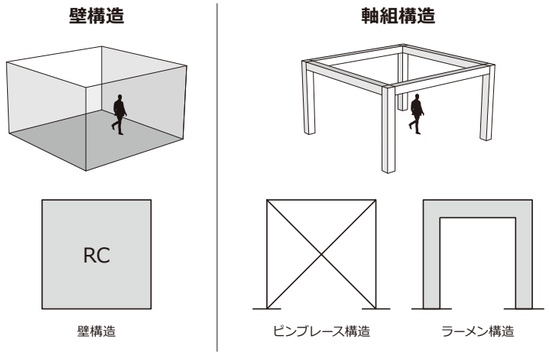
Architectural design

経済面、精神面、文化面、そして防災面について優位性を発揮する丸二のRCフォレスト3.0。ここでは、各部署「開発」「設計」「積算」「工事現場」の4人のエキスパートが自身の専門分野を通じてRCフォレスト3.0の優れた点をプレゼンします。

高い強度を発揮し、優れた耐震力が特徴

建築構法を空間の作り方で分けると、壁で空間を作る「壁構造」、柱梁で空間を作る「軸組構造」があります。

「壁構造」には、石やレンガ造りのものもありますが、「RCによる壁構造」は鉄筋で一体化されたコンクリート壁で作る構法。「軸組構造」には、ブレース（筋交）で地震や台風に対応する「ピンブレース構造」（軽量鉄骨や木造在来等）と、柱梁を太くし接合部を頑丈にする「ラーメン構造」（重量鉄骨やRCラーメン等）の2種類があります。



設計視点！

震災時にも大きな問題がなかったRC壁構造！

さて、阪神・淡路大震災など過去の大震災の状況をみてみますと、ピンブレース構造の軽量鉄骨の場合、材厚が薄く錆の影響が出やすいことでの強度低下による倒壊とか、ラーメン構造重量鉄骨で角柱の角部分が弱点になるとか、あるいはRCラーメン構造でピロティ形式*の階が弱点になる等の被害がありました。その後、基準改正を重ね現在どの構造も大地震への備えとしては同じようなレベルの性能に達していると考えられています。一方で、RC壁構造については過去のどの震災においても構造自体に大きな問題がなかったことが報告されています。したがってRCフォレストで採用したRC壁構造はこのように過去の実績の積み重ねをふまえた安定した強さのある構造となっています。

＊ピロティ形式：2階以上の建物において当該階（例えば1階）に壁がなく柱のみとした建築形式、またはその構造体。

Presenter II 設計室 一級建築士 **石川 嘉和** ISHIKAWA Yoshikazu

Estimation

ミニマルを目指し、重要な二つの課題を解決

近年多くの建設資材が高騰していくなか、「より多くのお客様にオーソドックスなRC造の建物をローコストで提供するには」という課題から入りました。そのなかで行き着いたのが、従来ある住宅概念ではない引き算の発想、引き算のデザイン、つまり「Minimal（ミニマル）」という概念です。ちなみに「ミニマル」。英語で「必要最小限」・「最も小さい／少ない」という形容詞。ミニマルデザインとは余計なものをそぎ落とされることにより、本来ある美しい空間やコンクリートの素材をより引き立たせてくれると考えています。RCフォレスト3.0は、この「ミニマル」を目指したことで、もっとも重要な二つの課題を解決しました。一つは**デザイン性**。余計なものをそぎ落とすことにより、本来ある美しい空間やコンクリートの素材をより引き立たせてくれました。二つめは、**建築コスト**です。お客様に良心的な価格で提供することができるようになりました。具体的には……。

原価（コスト）のミニマル化

原価は数量と単価を掛け合わせて算出し、それらを集計した金額が工事原価になります。「無駄な数量を少なくすること」と「個々の単価を安くすること」で、原価を下げることを実現させたのです。

ロス率の低下

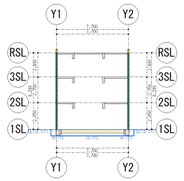
建築物を施工する際、標準的なロス率を定めています。ロス率は施工条件によって変わってきますが、ロス率が少ないほどコストダウンにつながっていきます。端材が出ないように定尺でうまく割り付けたり、施工精度を上げたりすることで、ロス率を改善してコストダウンを目指しました。

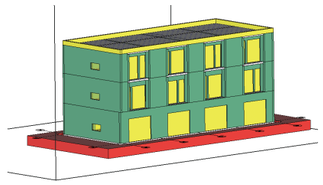
作業員の適正人員で生産性アップ

そのためには「標準歩掛[*1]」も重要なポイントです。歩掛は、延べ人工を施工量で割って0.5人/㎡のように表します。また、施工量を延べ人工で割って1人の1日当たりの施工量として労働生産性を表します。建築では人件費がコストに大きく影響をもたらしますので、作業員の適切人員で生産性を向上させてコストダウンを行うことができます。

ミニマル思考でコストダウンを実現

積算視点！





躯体[*2]積算時の3D画像：ガレージハウスの躯体数量積算は、図面通り積算ソフトで数量拾いが行われているかを3Dで確認しながら行っていきます。

＊1 歩掛（ぶがかり）：ひとつの作業を行うにあたり、必要な作業手間を数値化したもの。

＊2 躯体（くたい）：建築物全体を構造的に支える骨組み部分のことで、構造体のことを意味する。

Presenter III 工事部 コストマネージャー 山川 公一 YAMAKAWA Kimikazu

Construction site

メンテナンス性と高品質、コストパフォーマンスを実現

施工会社ならではの商品開発を追求すると、オーナー様からの声を活かした建物と、シンプルでメンテナンス性が良い建物が、オーナー様や入居者様にとって長い目で見て一番住みやすい建物だと思います。

近年、建物では「シンプル＝隠す」という考えが一般化し、建物として重要な住宅設備の配管なども、床下や壁の中に隠して見せない構造になっています。しかし、設備配管などに不具合があると特定するのが難しく、床や壁を壊してからの作業となり、修繕費と工期がかかってしまうことになります。

そうした風潮にあえて逆行した丸二のRCフォレスト3.0は、配管をなるべく露出させることで、点検やメンテナンス性を上げ、コストをより抑えた建物を実現させました。

また、建物の形状として複雑さをなくしコンクリート住宅の重要な構造である、コンクリートの打設[*]をしやすくすることにより高品質を目指すと同時に、工事費を抑えることでローコスト住宅を提供します。オーナー様や入居者様にとって優しい建物としています。

重要な配管が床下に隠されている工事が多く見受けられます。RCフォレスト3.0ではこのような配管を最小限にし、天井や外部に露出で配管を行います。

現場視点！

施工会社ならではの商品開発を追求して生まれたRCフォレスト3.0！

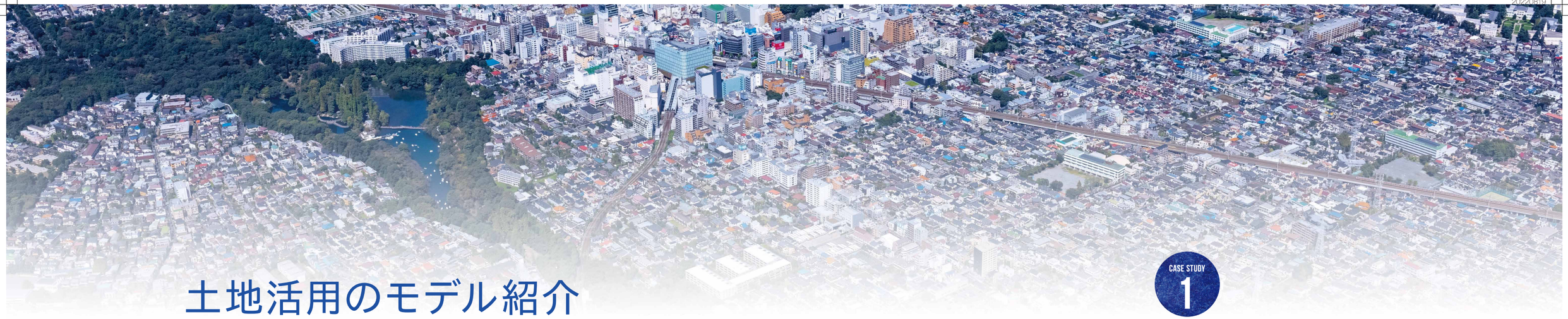
＊ コンクリート打設：生コンクリートを枠の中に流し込み、建物の躯体を作る作業のこと。

鉄筋コンクリートとは、見た目はコンクリートしか見えませんが、中にはこれだけの鉄筋が入っており、形状が複雑になると鉄筋も複雑になってきます。

一般的にはコンクリートの中に電気や設備等の配管が入っています。形状が複雑になれば鉄筋も複雑になり、鉄筋コンクリートの耐久性を左右するコンクリート打設時のコンクリートの密実性が悪くクラックの発生原因ともなります。シンプルな形状で極力コンクリートには配管を入れないようにし、主要構造体の鉄筋コンクリートの高品質を目指しています。

Presenter IV 工事部 部長 一級建築施工管理技士 鈴木 康之 SUZUKI Yasuyuki

20220819



土地活用のモデル紹介

リタイヤ後を安心に楽しく暮らすには、不労所得を作るのが一番!

あなたのリタイヤ後の夢は何ですか？ ご夫婦でゆっくりと旅行をする。全国各地、いや世界各国のおいしい料理を食べ歩くのもよいでしょう。そんな夢を実現できる一番の近道は不労所得を作ることです。それも若いうちから計画を立て中長期で実行していくことです。

都内一等地では投資用ワンルームマンションの売れ行きが好調です。では、実際どのような人が購入されているのでしょうか。投資ですから自分に投資用の資金がないとできないのではと思っていませんか。購入者の多くは20代から30代の現役ビジネスパーソンが、全額を借り入れて購入をしているのです。返済の原資は家賃収入です。返済期間の30年間はあまり利益は出ませんが、完済した後は、家賃収入が全部不労所得になります。60代のリタイヤのタイミングに合わせて30年計画で進めているのです。

では土地をお持ちのあなたでしたらどんなシミュレーションになるでしょうか。そしてどんな老後が待っているでしょうか。ここでは二つの事例をご紹介しながら不労所得をもつことのメリットについてご説明していきます。

営業部 お客様サポートチーム

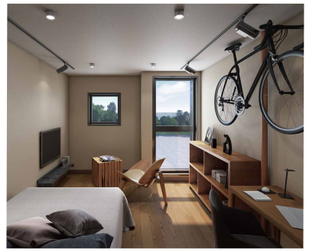
CASE STUDY 1

駅から徒歩10分圏内で持ち家にお住まいの方

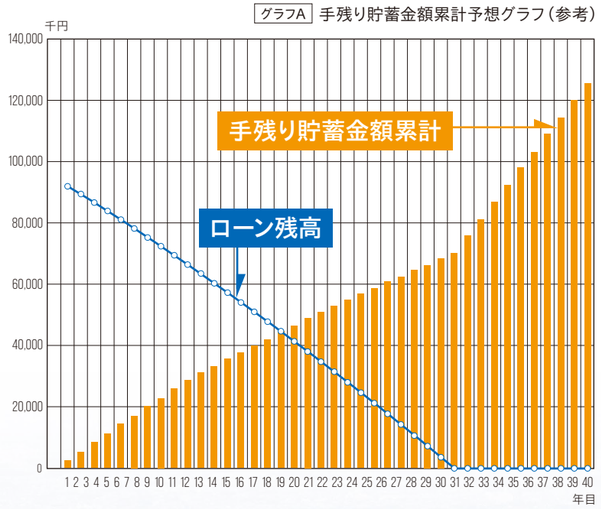
敷地約40坪、木造2階建ての住宅に住んでいるが、35年の住宅ローンを組んで建て替えても完済時は80歳を越えてしまい、老後の生活費も心配というAさん。私たちのアドバイスを受け、鉄筋コンクリート造3階建ての賃貸併用住宅を建設することにしました。ワンルームを9室、そのうち２室分を使って2LDKのご自宅という構成です。建築工事費、消費税、諸費用合計で9,450万円、私たちが紹介した銀行から全額借入をいたしました。毎月の手残り貯蓄収入は約21万円です。Aさんは50代前半で給与所得がありますので、家賃の手残りは全額貯蓄をし、繰り上げ返済をしながら早期完済を目指すことにしました。

計画では19年で借入の残高と手残り貯蓄が逆転します（グラフA参照）。さらにご自宅も新しくなりその分の借入まで家賃が返済してくれるのです。

Aさんは70歳になるころには、借入もなくなり、家賃収入年間約550万円と年金で優雅な不労所得生活、奥様との旅行を楽しみにしています。



グラフA 手残り貯蓄金額累計予想グラフ（参考）



CASE STUDY 2

生産緑地をやめて活用をお考えの方

Bさんは70代になり、畑仕事もだんだんつらくなってきました。2023年の生産緑地の見直しに際し、宅地化をし、良い活用方法はないか検討しています。ただし、場所は駅からやや遠く、大きなショッピングセンターなどはありますが車がないと不便なところで、どうしたらよいか悩んでいました。そんなBさんに私たちは「賃貸ガレージハウス」の提案をいたしました。Bさんの悩みをすべて解決できるかもしれない提案にすぐに興味をもっていただき、息子さんと一緒に話を聞いていただきました。土地は1反（300坪）です。そこに鉄筋コンクリート造3階建てのテラスハウス4世帯を建築する計画です。間取りは1階に玄関と電動シャッター付きのガレージ、2階はLDKと水回り、3階に個室2部屋の2LDK+Gです。

総費用は税金、諸経費を含め1億2,600万円、全額を30年返済で銀行から借り入れします。家賃は1世帯27万円／月、毎月の手残り貯蓄収入は月47万円になります。

こちらも手残りを積み立てておけば13年で全額返済が可能です。13年で7,000万円［（12ヶ月×47万/月）×13年］以上の貯蓄ができますのでうまく運用できればさらに返済を短くできます。そのあとは毎年1,000万円近い不労所得が入るわけです。

そんなうまい話があるのかと思われるでしょうが、これが不動産事業の醍醐味なのです。しかしそれを実現するには長期にわたり安定した家賃収入をあげられる建物を吟味することが重要です。

そこでお勧めするのがガレージ付き住宅です。要望が多いわりに供給がまだまだ少ない、ましてRC造のファミリー向けとなるとほとんど市場に出ていません。こうした差別化をした物件が長く安定した収益をもたらします。

Cerisier élégant 外観

お客様訪問 建築主 的矢様 × 丸二 藤原 義和

樹齢70年の桜の木を残すことが最大の命題

2017（平成29）年、老朽化した吉祥寺のご実家を賃貸併用住宅「Cerisier élégant（スリジュ エレガン）」に建て替えた的矢様ご兄弟たち。まず2014（平成26）年暮れに丸二に相談があり、その後工事請負契約を締結。三兄弟は、どのようなきっかけで建て替えを決意したのだろうか。計画段階から建築途中の話をはじめ、トラブルや困りごとの対応の仕方など様々な視点から、ご長男の的矢様と丸二の担当者藤原義和に語ってもらった。

【建物の概要】

建 築 主：的矢様三兄弟
土地と建物：3名の共有名義
建 築 地：武蔵野市吉祥寺本町
建 物 名：Cerisier élégant（スリジュ エレガン）
建物概要：鉄筋コンクリート造3階建て、全5住戸
（オーナー住戸1戸・賃貸住戸4戸）

※オーナー住戸には長男様が住み、
次男様と三男様家族は別の場所で暮らしている。

大手業者にも声をかけたが効率重視の考えに疑問

――どういったきっかけや思いから建物を建て替えようと思ったのですか？

的矢 発端は、母親の介護からなんです。うちは男ばかりの三兄弟だったので、母親の介護がスタートした時点で、兄弟間で「もう危ないな」「相続争いが発生しないようにしよう」と相談がはじまり、三人のコンセンサスを取るため建て替えの情報収集をしだしたのです。

藤原 私が、当時の担当者から聞いたのは、「三男様が建築に明るい方で、弊社に対して、コーポラティブハウス*の建設経験が多くあるのであれば、知恵はあるはず、とご評価いただいた」とのことでした。

的矢 実は、大手さんに違和感を感じたのは、樹齢およそ70年の桜の木の件をお話したとき。親の代から植わっていて、兄弟間で"桜は残そう"という話が出ていたのです。そこで一番下の弟が、まず大手さん4社に声をかけたのです。ただ大手さんは効率重視で「桜の木は切った方がいい」という提案が多かった。我々からすれば「それはないだろう」と。それで、弟が地元吉祥寺の業者の「丸二さん」に相談に行ったわけです。

藤原 当時の弊社の担当者は建築士の資格を持っていて、三男様の質問や相談に沿う形で話し合いを重ね、桜の木を残しながら賃貸住宅を建てる、プランを固めていたのを覚えています。

＊コーポラティブハウス
入居希望の数世帯が集まって、共同で事業計画を立て、土地の取得、建物の設計、工事発注などの業務を行い、建物を建て管理する方式の集合住宅。

建築主的矢様（右）と担当の藤原義和（左）

キッチンはオープンとクローズのどちらかを選べる提案に

――どこに一番こだわりましたか？

的矢 まずはターゲットの設定ですね。最初、ワンルームという話も出たのですが、ワンルームは吉祥寺周辺あっちこっちにあるから、それは止めようとなりました。うちは駅からぎりぎり10分ほどなので「その距離なら夫婦二人世帯、もしくは小さな子どもがいる家族を対象にすればいいんじゃないか」「それなら特に女性が気に入るような2LDKを造ろう」という意見にまとまりました。住まい選びは、女性の意見が一番大きいですからね。

藤原 それらを反映し、オープンとクローズのキッチンをそれぞれ造りました。これは入居者様の選択肢を増やすためです。また出来上がると間取りは固定になるので、実際に住む人が間取りを自分で選べるフレキシブルな提案にしています。あと、コンクリートの打放しの面を強調して、意匠のアクセントとして見せるような処理にしました。

――建物を建て替える際に、丸二から何かアドバイスはありましたか？

的矢 このエリアは、建物の高さが10m以上になってはいけないルールがあり、3階建てにする場合は、大きなビルを建てる時のような近隣住民への説明会が必要だと言われました。

藤原 武蔵野市は、そういう点は厳しいんです。的矢様にも説明会で話をしていただきましたが、それでも近隣から反対の声もありました。

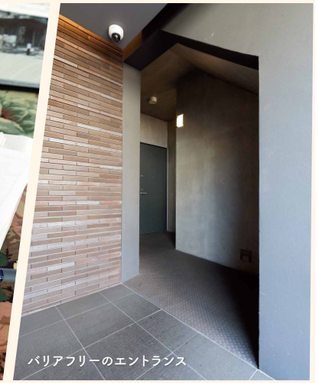
的矢 個別の説明を重ねご理解に至りましたが、この地域一帯をよくご存知な丸二さんだからこそできた対処かもしれません。とてもお世話になりました。これから建物を建てようと考える人に対して、私から教訓として言えるのは「普段から近隣との友好な関係を築いておいたほうがいい」ですね。

長い付き合いになるのでメンテナンスの相談ができるのはいい

――丸二を選んで一番良かった点は、どういう部分でしょう？

的矢 一番は、思い出が詰まった桜の木を残して建ててくれたこと。この建物のシンボルツリーとなり、建物の名前である「スリジェ（フランス語で「桜」の意）」にも取り入れることができました。また建て替え工事中は、小金井にある丸二のゲストハウスで過ごしました。引っ越しの際は、押し入れにあった調度品、庭の植木鉢や庭石まで預かってくれたので助かりましたね。あと丸二さんでは「オーナー定例会議」というシステムがあるので建築中も安心でした。

月一回の報告書



バリアフリーのエントランス

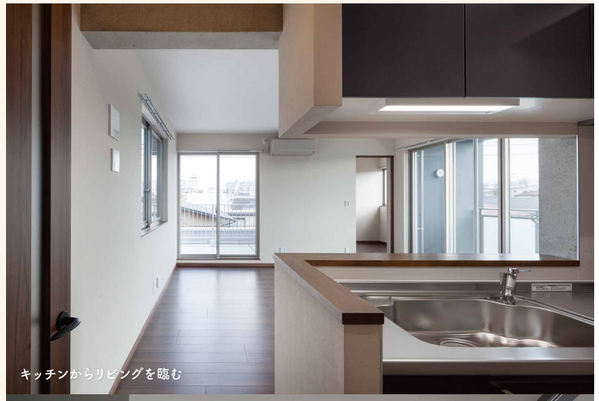
藤原 建築途中、毎月一回のペースで、現場でオーナー様をご案内しながら進捗状況を報告するのです。みんなが集まる機会ですから、そこで意見を交わし合い、詰める所は詰め、変更があれば対応していくという流れになります。これが「オーナー定例会議」です。

的矢 5年経過した中では問題はないですが、やはりこれから色々手を入れないといけないと思います。丸二さんはリフォームもやっているでしょう。その点も安心材料です。

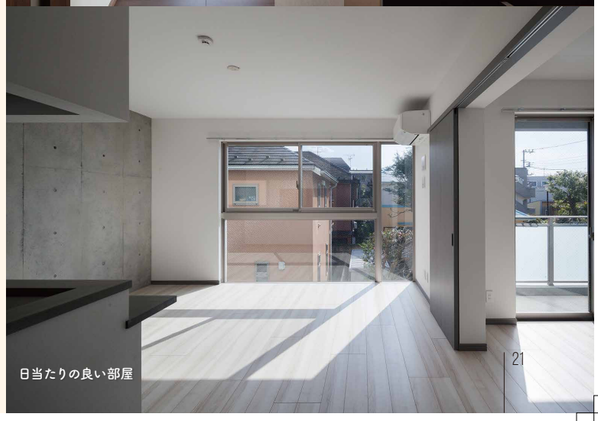
藤原 そう言っていただけるとうれしい限りです。「細やかなメンテナンスやリフォームに強い」「誠実な施工」という部分は丸二の大きな強みだと言えます。

的矢 これから20年以上はお付き合いしていくことになるので、よろしく頼みますね。

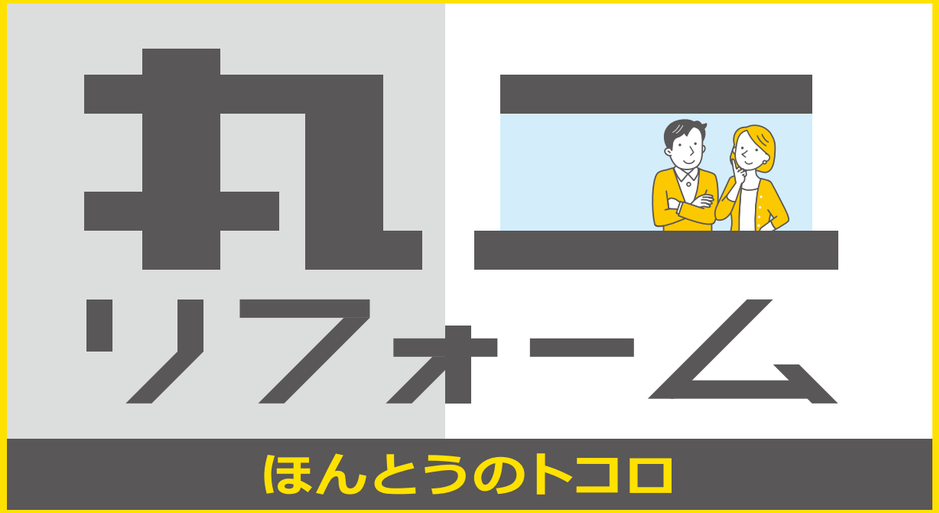
藤原 おまかせください。



キッチンからリビングを臨む



日当たりの良い部屋



丸二の二大事業の一つが「リフォーム」。丸二の知恵と技術が年間1,000件を超えるリフォーム実績をつくっています。なぜ、多くのお客様から支持されるのか、ここでは、その理由を深堀りしていきます。

丸二は、武蔵野市吉祥寺で創業以来およそ70年、地域密着の総合建設業として、高度な技術と豊富なノウハウを活かし、「鉄筋コンクリート造」「鉄骨造」「木造」などの新築工事を手掛けてきました。そのアフターメンテナンス部門から独立したのが現在の建築部（リフォーム部門）です。来たるべき「リフォームの時代」を見据え、20年前に設立し、今では年間1,000件以上の増改築工事を手掛けています。

最も大切にしているのは、「縁を結び、縁を繋ぐ」という理念です。「小さな補修」から始まる新たなお客様とのご縁を大切にし、いつまでも良い信頼関係を繋ぎ続けていくのが丸二の流儀。数多くの新築実績を通して培った「たしかな施工技術」「豊富な経験と知識」「専門の職人ネットワーク」を活かし、「小さな修繕工事」から「内装リフォーム工事」「リノベーション工事」「大規模修繕工事」まで、どのような工事でも、オールラウンドに対応します。

私が会社を引き継いだ25年前の管理顧客数は350人でしたが、リフォーム事業の設立以降、毎年100人以上のお客様との新たなご縁をいただき、現在は2,500人にまで拡大しています。そして私たちは、今後もより多くのお客様に喜ばれるために、自らの人間性を磨いていきたいと思います。お客様一人ひとりの「希望の実現」「課題の解決」に必要なのは、「良き技術」の前に「良き人柄」と思うからです。「丸二の人たちは、皆いい人だ」。そう言っていただける信頼の土台を、私たちはしっかり築いていきたいと思っています。

代表取締役　渡辺 偕規

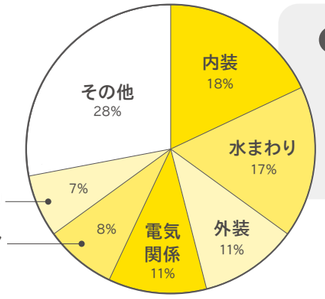
お客様サポート係
鈴木絵理

データあれこれ公開します！

丸二では、大小、内容も金額も様々なリフォームを引き受けているのですが、お客様の中には「こんなこと頼んでいいのかしら？」と思われている方が多いことも事実です。そこで、2019年〜2021年の3年分、約3,000件のリフォーム工事の内訳を公開します。

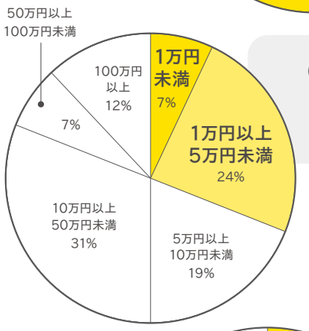
❶ 工事内容　こんな工事もしました。

- 扉の丁番調整
- 床の凹み補修
- 照明スイッチ交換
- 押入れの天袋製作
- 雨樋の修理、清掃
- 表札付け替え
- コンセント増設
- スロープ設置



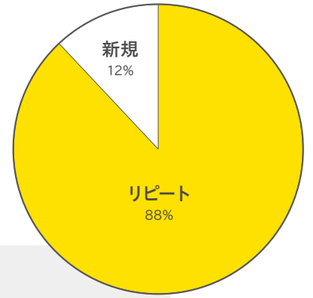
❷ 工事金額

約30%は5万円未満の工事です。



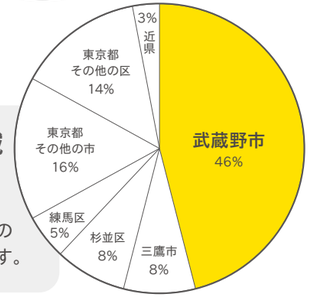
❸ リピート・新規

約9割はリピートのお客様からのご依頼です。



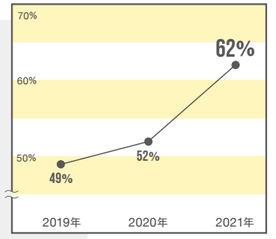
❹ 地域

約半数は地元武蔵野市のお客様です。



❺ アンケート返送率

コメントを記入してくださるお客様も年々増えてきました。



アンケート内容はP26〜27で紹介しています。

建築部 A.T.

リフォーム担当のスペシャリストトーク

建築部 K.K.

面倒、難しい、非効率……

無理と言わず、お客様目線で多様な要望に応える

大規模なリフォームから、ちょっとした修繕・手直しまで、どんな住まいの悩みにも応える丸二のリフォーム部門。安心と信頼のサービスを提供し続ける、建築部の立石光と、菊池の二人に、丸二のリフォーム部門の強みや、これまでの仕事で印象的だったものなどについて語ってもらった。

丸二の建築部（リフォーム部門）の強みはどこにあるのでしょうか？

リフォーム部門と新築部門が、お互いシナジー効果を発揮している点です。

新築部門で技術とノウハウを磨き、リフォーム部門に移った社員もいるので「工夫の引き出し」が多いんですね。よくリフォームって「開けてみないとわからない」っていうフレーズが出てきますが、新築のことを知っているとある程度想像できる。自分が分からなくても、社内の新築部門の担当者に聞くこともできる。さらにそうした経験を蓄積した社員が後輩たちを指導していく。その辺りの幅広い人材、技術やノウハウの蓄積と水平展開は丸二の強みだと思います。

質問すれば「こういう方法がある」「この方向で組み立てられる」というアイデアが社内の誰かしら出てきますので「わからない」や「無理です」がほとんどなく、対応力があると思います。

具体的にどんな依頼があるのか教えてください。

お風呂、キッチン、トイレ、洗面台などの部位別リフォームから、耐震、バリアフリー、防犯などの付加価値リフォームまで様々です。ただ1,000件の中には、製造中止の障子枠や引き違いの扉の再利用、思い入れのある古い床柱を使って、「ここにつかまれる柱があったらいいな」という場所につけるなどもあります。また、ゴミの処理もお金がかかるので、廃材を余計に出さないように、床の高さの調整ができれば、新しい床を被せて貼ってしまうこともする。そうなれば、お客様の費用負担も減ります。まずはお客様目線であること、そしてなるべく「無理」と言わず、一方で「無駄を省く」という仕事をしています。

「ガレージをつくるため、自分で一部DIYしたい」というお客様がいらっしゃいました。丸二が基礎を組んで壁と屋根をつくるところまで対応しました。

そうそう、お客様は内装や塗装を楽しまれていたね。その他、壁に穴を一つ開けてほしいというご依頼もあるんですよ。エアコン用の穴が必要だったんですね。家電屋さんでは対応できなかったので、うちに声がかかったのです。また、工務店さんが面倒に感じるコンセント1個の増設なども、なるべくコストを抑えて対応させていただいています。

そういった細かいご依頼もありますね。食器棚やピアノ、洗濯機などの大きな製品を買ったけど扉の分、開口が狭いので搬入のために扉を外して搬入後に再度取り付けしてほしいなどもあります。

以前、2階にピアノを設置しようとして搬入中に階段で通らなくてベランダから搬入したことがあります。ベランダの屋根を外して避けて置いて、ピアノをクレーンで吊り上げて室内に取り込んだ後、また置いておいた屋根を設置して元に戻したこともありましたね。

これまでのリフォームで苦労した案件はどんなものがありますか？

難しいのは「減築」かもしれません。私が対応した物件で、新築の時にセットバックの計画がある物件で、その計画に沿って建てられていたのですが、問題が次々出てくる。法的な絡みもあって苦労しました。また別の担当者の話ですが、5階建ての建物の上2階を取り払って3階建てにする垂直の減築もかなり大変だったそうです。いずれにせよ、複雑なリフォームの場合は技術だけでなく、安全管理、コスト管理、工程管理なども同時に対応しなくてはいけない。あらゆる面で新築の知識が必要な部分もあるので、やはり建築に関することをトータルで分かっていないとできないですね。

リフォームの仕事をして、良かったと思うことはなんでしょう？

丸二では「ありがとうボイス」（P26〜27参照）というお客様のお声をいただく葉書を用意しているのですが、そこで「細かい相談にのっていただき、ありがとうございます」「心強いです」という言葉を頂戴したときです。信頼していただいていると思うと、とても励みになります。時には厳しいお言葉を頂戴する時もありますが、真摯に対応していくことを心掛けています。

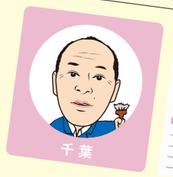
長く続けてきたので、リピートのお客様も多くなりました。部員の中にはご依頼で何度もお邪魔させていただいているうちに、家族や親せきのようなお付き合いになってきている方もいます。気心が知れると安心感もわきますし、お客様もどこをどうしてほしいのか、伝えやすくなる。もちろん私たちも把握や察知しやすくなります。私たちは、常にお客様に寄り添う気持ちが大切だと考えます。

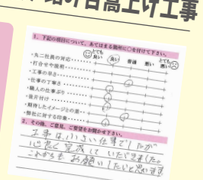
「ありがとうボイス」ハガキ

住まいの「困った！」を引き受けています

電球の交換から、マンションの大規模修繕まで、大小含めて多種多様なリフォーム工事に対応。「こんなこと頼めるのかな？」を引き受け、お客様の“困った”に応え、その感謝の気持ちがしたためられた「ありがとうボイス」ハガキ。その一部をご紹介します。

建具調整・丁番交換・踏み台嵩上げ工事

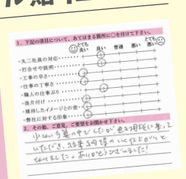




工事は小さい仕事でしたが、心良く完成していただきました。これからもお願いしたいと思います。

（武蔵野市 K様）

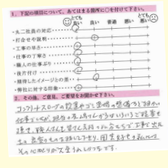
フロアタイル貼り工事



少ない予算の中でしたが、色々相談に乗っていただき、結果納得のいく仕上がりとなりました。ありがとうございました！

（武蔵野市 S様）

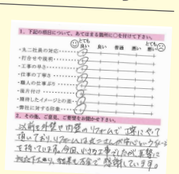
スロープ&ゴミ置場設置工事



コンクリートスロープの設置やゴミ置場の整備など細かい仕事でしたが、担当の長嶋さんからは、いろいろご提案を頂き、職人さんも皆さん気持のよい方たちで、工事で出た土の良質のものを残して下さり、園芸好きの私にはその心配りが大変うれしかったです。

（武蔵野市 Y様）

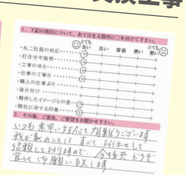
LANケーブル配線工事



以前も外壁や内壁のリフォームで丁寧にやって頂いており、リフォームは丸二さんが安心というイメージを持っています。今回、小さな工事でしたが、真摯に対応下さり、結果も万全で感謝しています。

（目黒区 Y様）

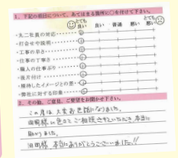
浴室ドア用ゴムパッキン交換工事



いつも素早い対応を有難うございます。我が家のことはすべてお任せして信頼しておりますので、今後共どうぞ宜しくお願い致します。

（世田谷区 A様）

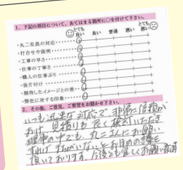
パネルハウス設置工事



この度は大変お世話になりました。田岡様に色々とご相談させていただき、本当に助かりました。田岡様、本当にありがとうございました！！

（練馬区 O医院様）

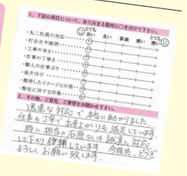
キースイッチシリンダー取替工事



いつも迅速な対応で、非常に信頼がおけ、見積りも良く検討いただき、理事の中でも、丸二さんにお願いすれば、まちがいないとおほめの言葉を頂いております。今後とも宜しくお願い致します。

（武蔵野市 I様）

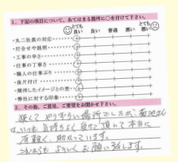
エアコン交換工事



迅速な対応で本当に助かりました。仕事も丁寧で出来上がりも満足しています。特に担当の石原さんは誠実に対応して下さり信頼しています。今後共、どうぞよろしくお願い致します。

（小金井市 K様）

植栽剪定工事



狭くてやりずらい場所でしたが、菊池さんは、いつも気持ちよく受けて頂いて本当に有難く、助かっています。これからもよろしくお願い致します。

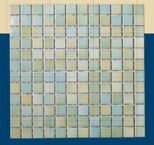
（三鷹市 H様）

丸二を支える人たち 職人矜持

其の壱

美的センスと精密さが要求されるタイル職人

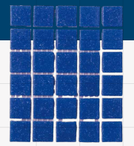
PROFILE
山田 浩二 YAMADA Koji
1965（昭和40）年、大阪府豊中市生まれ。タイル職人。4歳のときに、タイル職人だった父親の仕事の都合で東京に移住。高校を卒業後、父親の元に弟子入りし、その後タイル職人一筋の人生を歩む。丸二とは18歳の頃からの付き合いである。



タイル職人は、建物をきれいにする仕事

少しのズレもなくタイルを貼るタイル職人。建物の外壁や床面、水回りなどにタイルを正確に美しく貼っていくには、高い集中力に加え、繊細さや美的センスが求められる。奥の深い仕事なのだ。

有限会社 山一タイル　代表取締役　山田 浩二



父から「こんな仕事はするな」と言われたが

「大事にせなあかんのは見た目の美しさや。タイル職人は建物をきれいにする仕事やぞ」とは、父の口癖。寡黙な人だったが、職人らしく仕上がりにはうるさかった。

タイル貼りは、一枚一枚が少しズレたり斜めになると、徐々にそのズレが目立つようになり美しさを損ねてしまう。入念な準備と計算を行い、仕上がりのイメージを想像しながら進める、実に繊細かつ緻密、クリエイティブな作業なのである。だからこそ面白い。

「実は父からは『こんな仕事はするな』と言われていました。大変な仕事ですから。でも私が『どうしてもやりたい』と頼んで見習いになりました。ただ弟子になったはいいけど、タイルを触らせてもらえません。教育らしいこともしない。『見て覚えろ』の世界でした」

修業は厳しかったが、自ら選んだ道でもある。山田さんは一人前になるまで踏ん張った。

刻々と変化する技術や部材にも対応

タイルはただ貼るだけでなく、下地補修、墨出し*、割付の作業にも熟練の技術がいる。

「あと提案力も大事です。施工場所によって、玄関なら滑りにくいタイル、浴室床には冬場でもひんやりしないタイルなどがあるので、お客様のニーズに合わせてお薦めしています」

ときには珍しい注文や手の込んだ注文が、舞い込む。

「マンションの手洗い場に、設計士が描いた波と魚をタイルで表現するという依頼がありました。タイルで絵を描くのは技術的にもなかなか難しいんです。思い出深い仕事でした」

いまは変化が激しい時代である。その波はタイルの世界にも押し寄せているという。東日本大震災による被害として、外壁が下地から落ち、クラックが入る事案が数多く発生した。そのため、タイル貼りも強度を考慮し、工法がモルタルからボンド貼りに大転換。その影響で現場の作業も激変した。

「ボンドは手に付着すると剥がれないので扱いが大変なんです。でも慣れていくしかありません。手袋をすればいいんですが、薄くても感覚が鈍るので、私は好きではないんです」

職人は熟練の域に達すれば一人前と言われたが、これからはそういうわけにはいかない。

「タイルの世界でも、技術や部材が刻々と進化しています。私たちもその変化に対応するべく、腕を磨きチャレンジしていく必要があります。丸二さんとお客様から必要とされる職人であり続けるのが私たちの使命ですから」

そう言いながら山田さんは笑顔と共に口元を引き締めた。

＊墨出し（すみだし）：仕上げ工事の前に、建物の柱の中心線や床・壁の仕上げ面の位置など、工事の基準となる線を構造体などにしるすこと

MARUNI HISTORY 1953 MARUNI HISTORY 2022 MARUNI HISTORY

渡辺偕規が綴る

丸二ヒストリー

第一話 北の大地から

MARUNI HISTORY 1953 MARUNI HISTORY 2022

厳しい世間の風を受け「キタリモノ」から始まった

丸二は、父、渡辺正一が、故郷の北海道滝川町（現・滝川市）から、大学入学のために上京したと同時に創業した会社です。創立は、1953（昭和28）年の10月。明治大学に入学し、最寄りの明大前駅から京王井の頭線に乗って、とりあえず終点で降り、下宿を探したそうです。それが吉祥寺との縁でした。

父は商学部でしたので、保険、金融、証券などに関心があったそうですが、父親（私の祖父）から、「これから東京は建設の時代がくるから、建設業を始めなさい」との命令が下り、困惑したそうです。当時は、親の言うことは絶対でした。北海道でたまねぎの商売をしていた祖父は、岩手に製材所を設け、その木材を東京に直送する算段を組み、父は否応なしに、建設業を興しました。

父に聞くと、当時の丸二は、「キタリモノ」と言われていたそうです。キタリモノとは、古来よりの言葉で、「他所から移住してきて村落内に居住しながら他所者としての扱いを受ける者」の意です。その時代、他所から来て、土建業を興すような者は、キタリモノとして、厳しい世間の風を受けました。まして遠方の北海道からの他所者です。

建設業は地場産業のため、地元との縁がないと成り立ちません。そのため、父は、岩手の製材所直送の木材を使って、木造住宅の建売から事業を開始しました。つまり、当初の丸二は木造建売業者だったのです。

父 正一と母 卿子、空知川・鉄橋（1959〈昭和34〉年 夏）

その後は、地道に建売事業の実績を上げていきながら、高度経済成長期に入り、地元の公共工事の指名を獲得するまでに至りました。この時期に丸二は木造主体からRC造主体への事業転換を果たしています。長年の実績もあり、地元の工事業者として認知されるようにもなりました。ついにキタリモノからの脱却です。生まれも育ちも吉祥寺の私の時代から見ると、もう遥か昔の物語ですが、キタリモノと言われた時代があったからこそ、丸二には独自の経営哲学が根付きました。それは、「他社がやらないことで勝負する」です。他所者が生きていくには、それしか道がなかったからです。その後、丸二が取り組んできた「ローコストマンション」「ルネス工法」「外断熱工法」「コーポラティブハウス」「リフォームとの両輪経営」、そして今回の「RCフォレスト3.0」など他社とは別の道をいく独自路線は今も確かに生きています。これが丸二の遺伝子（DNA）。何が幸いするか分からないという「人間万事塞翁が馬」の物語のひとつです。

今から20年ほど前、父の生まれ故郷の北海道滝川市へ家族全員で出かけました。本当に何もない土地でした。父の記憶の通り、ただ畑と川と鉄橋があるだけでした。今から70年もの昔、この地から東京へ出るのは本当に大変なことだったと思います。けれども、丸二の遺伝子（DNA）の中に、このような広大な自然の記憶があることにも気づきました。北海道の大地、川、畑、山。都会にはない、大地と自然の恵みの里から、丸二は生命を頂いていたのです。私たちの経営理念の中に、「自然の恩恵に感謝する」とあります。私たちが造る建物は、全て自然界のもので造られています。自然界がなければ、建物もなく、人間も生きていくことはできません。父と祖父への感謝の思いと共に、丸二の原点かつ出発点である北の大地、大自然への感謝の思いを捧げました。

かつて祖父は言いました。「これからは建設業の時代」と。そして今、私も言います。「これからも建設業の時代」と。自然災害が多発する時代となり、これからの建物は、人々の生命と生活と人生を護る存在へと進化しなければなりません。

丸二は70年の歴史の中で培ったRC技術、独自性、コスト力、サービス力を活かして、世のため、人のために働いて参ります。無名のヒーローたちが、人としての成長を果たしながら、新たな歴史を築いて参ります。

父の名は、渡辺正一。祖父の名は、渡辺二郎。祖父の二郎の「二」の字を取って、岩手の製材所の屋号が㊁となり、現在の「丸二」へと受け継がれました。全ては、正しく、一途に、未来へとつながっていきます。

父 正一、明治大学

道楽倶楽部

其の壱

ライダーズ

登　山

山　城

丸二では、社内外のコミュニケーションの活性化に向けて「道楽倶楽部」制度を設けている。
活動資金の一部を援助してくれるとか。その内容はユニークな活動ばかりだ。

武骨で重厚なハーレーに魅せられて

リターンライダーだからこその楽しみ方

道楽倶楽部
ライダーズ

風、空気、におい、振動、排気音を全身で感じる爽快さと開放感。昔乗っていたバイクにもう一度乗ってみたい。そんな中高年がいる。丸二のライダー二人も、2015（平成27）年に大型免許を取りバイクを購入したリターンライダーだ。

カスタマイズする楽しみと走る喜び

武骨でワイルドな車体と空気を揺さぶる重厚なサウンド。さらにオーナーのこだわりが詰まった魅力的なカスタム。ハーレーと聞いて思い出すのは、映画「イージーライダー」と、そのテーマ曲「Born To Be Wild」だ。映画をきっかけに憧れを抱いた人も多いはずだ。そしてここ数年、中高年で初めてバイクに乗る人や、若い時にバイクを楽しんでいたが就職や結婚が理由で手放し、再びバイクに乗り始める「リターンライダー」が増えている。

丸二にも、そんな“中年ライダー”がいる。彼らはハーレーのどこに魅力を感じたのだろうか。「ハーレーダビッドソン・スポーツスターXL883R」のオーナー森尾毅は「やはり振動とエンジン音です。ハーレーというと、アメリカンを連想すると思いますが、私が選んだのはスポーツ系のタイプです。走りを重視している点が魅力でした」と静かに微笑む。一方「ハーレーダビッドソン・バットボーイFXSTSB」のオーナー大庫規和は「私も独特のエンジンの鼓動感が気に入っています。あとは周りで乗っている人が少ないタイプを中古で探して購入しました。これまで色違いを一度見かけたぐらいです」と満足気な表情を浮かべる。

さらにハーレーの魅力を深掘りしてみると、森尾のほうは特にカスタマイズに凝っているという。「部位ごとに言うと、まずサスペンション。元がやわらかめなので、バネを固くして前輪でブレーキが利くように改造しました。また、後輪に重心があるので、後ろのサスペンションの車高をあげ、ウエイトのバランスを真ん中に持ってくるようにしました」と熱く語る。一方、大庫のほうは、カスタマイズはほぼやっていない。純粋にバイクでの走りを楽しむタイプだ。コロナ禍となってからは、ツーリングを自粛してきたので少々退屈気味だという。

ツーリング+ソロキャンプもはじめて

以前は、3ヶ月に1度は誘い合ってツーリングを楽しんでいた。会社帰りに居酒屋に寄り、それぞれ現場の忙しいタイミングを調整しながら段取りを組んだ。これまで訪れたのは、山中湖、城ケ島、アクアラインの海ほたるパーキングエリア、美ヶ原高原や霧ヶ峰、松本城、日光東照宮や華厳ノ滝などである。走りと景色、それに休憩時の食事や温泉などがツーリングの醍醐味だ。

森尾は昨年からバイクでのソロキャンプを始めた。「もともとアウトドアが好きで、子ども連れでキャンプをしていたのですが、大きくなると付き合ってくれない。それで1人で始めたんです」とのこと。鉄製の鍋でキムチ鍋をつくり、箸でつつきながら焼酎をやる。たき火台の火をじっと眺める。至福のひと時なのだ。大庫も、森尾から聞くソロキャンプの話に刺激を受け、道具を集め始めた。バイクとソロキャンプはとても相性がいいのだ。

まとまった休みはなかなか取れないが、二人はいつの日か、九州や四国、金沢などへも足を延ばしてみたいという。思い立ったら、いつでも、自由に、気軽に旅立てるのがバイクの魅力でもある。爽快な風を浴びながらのんびり走れば、明日への活力が湧くに違いない。

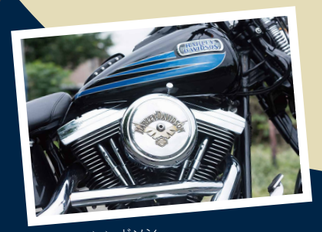
千葉の海岸線の道路を走るのが気持ちいい

大庫 規和（DAIGO Norikazu）
千葉県松戸市出身／現場管理。現場代理人として安全から品質管理まで担当

ハーレーダビッドソン
Evolution 883cc・空冷V型2気筒OHV 4カム

ハーレーダビッドソン・
バットボーイFXSTSB

ハーレーダビッドソン・
スポーツスターXL883R



ハーレーダビッドソン
エボリューションエンジン 1,340cc

ハーレーは自分好みの
オリジナルバイクを造る楽しさもあるよ!!

森尾 毅（MORIO Takeshi）埼玉県飯能市出身／工事部。現場代理人として安全から品質管理まで担当

そびえる山嶺から眺望を見るために

頂上に到達すれば、誰もがきっと悩みから開放される

道楽倶楽部
登山

本格的な登山ではなく、ゆるい感じで始まった山登り。元山と長嶋は、これまで塔ノ岳や雲取山、蝶ヶ岳や富士山などに登頂してきた。心がけているのは、難度の高い山を目指すというより、楽しく安全に山を登ることだ。

山頂に達し大きな達成感を味わった

多くの人が山登りに魅せられる。なぜ、人々はこんなにも山登りに心を奪われるのだろう。丸二の元山清貴と長嶋絵美は、そもそも登山にそれほど興味や関心があったわけではなかった。登山を始めたのも、たった4、5年前からなのだ。

「僕は東京生まれで田舎がなく、自然に憧れる面がありました。娘が小さいころはキャンプをやったり」と元山が口を開くと、長嶋は「私は長崎県出身なので、周りは海ばかり。そもそも山も登山も無縁で」と苦笑する。

ある日、元山が「富士山に登ってみたいな」と呟くと「いきなり富士山はきついです。とりあえず奥多摩辺りじゃないですか」と長嶋が応え、標高1,531mの三頭山を目指すことに。

ところが初心者にも関わらず、思いのほか難ルートに入ってしまった。計画通りにいかず、下山が夜の7時過ぎになってしまった。それでも珍しい浮き橋（ドラム缶橋）を歩き、富士山を望み、山頂に到達すると大きな達成感があった。開放感あふれる自然の中で、さわやかな空気を吸い、爽快な気分を味わううちに、いつしか山登りの魅力にとりつかれていった。

それぞれは、仕事の合間を縫って、高尾山や塔ノ岳、雲取山など近場の山に通うようになった。少し慣れてくると、蝶ヶ岳や剱岳にも挑戦した。軽量化の知識がなく蝶ヶ岳でバテバテになった長嶋は、頂上で汗が乾かず寒くて震えが止まらなくなり、インナーの大切さを知った。一方、元山は「剱岳は悪天候に遭い、残念ながら撤退しました」と唇を噛んだ。

山は君の全ての疑問に答えてくれる

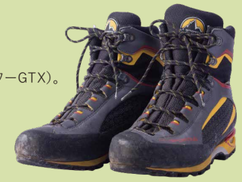
初心者の二人は失敗しながらも工夫を続け、登山の奥深さと楽しみ方を覚えていく。

長嶋は「山で写真を撮るうちカメラが趣味になりました。iPhoneを胸ポケットに入れ、眺望の良い場所に来たらApple Watchを操作して動画を撮るのも楽しいです」と微笑む。その山の写真を、田舎の家族に送るのだという。立山連峰の絶景、標高2,000m付近に広がる大高原は、決して地元では見られない。珍しい景色を見て家族は喜んでくれる。立山の感動を共有したくて父親に地酒も送った。地酒に地元料理、温泉は、下山後のうれしい余禄だ。

「楽しいことも多いけど、山登りって、ある意味、不便です。でもそれさえ楽しむことに意味がある気がします。危険もあるし注意を怠ってもいけない。非日常な環境で、どれだけ平静を維持しながら行動できるか。このチャレンジが楽しいのかも」と元山は目を細める。

イタリアの登山家ラインホルト・メスナーは「目の前の山に登りたまえ。山は君の全ての疑問に答えてくれるだろう」と言った。ちなみに元々きっちりした性格の長嶋は、登山を始めてから、理不尽なことやミスへの対応力が身につくなど、気持ちに余裕ができたという。

最後に元山は「仕事や人生で悩んでいる人がいたら、一度山登りをやってみてほしい。頂上を見れば無心になり、きっと悩みから開放されますから」と穏やかな表情を浮かべた。



登山靴（スポルティバ ドランゴタワーGTX）。テント泊の時に使用している

初めて買ったザック（オスプレー ストラトス36）で愛着がある

ガスバーナーは、山には必ず持っていくアイテム

剱沢キャンプ場から剱岳（2,999m）を臨む（撮影／長嶋 絵美）

下山時、トレッキングポールがあるのとないのとでは脚への負担が全然違う

元山 清貴（MOTOYAMA Kiyotaka） 東京都足立区出身／建築部。主にリノベーションやリフォームを担当

長嶋 絵美（NAGASHIMA Emi） 長崎県出身／建築部。現場の工事担当や先輩社員の補佐などを担当

山城の築城技術に思いを馳せる

攻め手と守り手の攻防をシミュレーションして楽しむ

道楽倶楽部
山城

歴史好きの間でブームになっているのが「城めぐり」だ。著名人でも城好きを公言する人がおり、なかには「山城めぐり」というマニアックな分野を追求する、落語家の春風亭昇太氏のような方もいる。丸二の山城好きにも魅力を語ってもらおう。

重機がない時代の土木技術に興味津々

近年「城めぐり」がブームだ。書店にもAmazonにも城に関する書籍が並び、テレビでも城をテーマにした特集が放映されるなど、人気が広がっている。

一口に城といっても、日本の城は江戸時代の軍学者によると3つに大別される。一般に知られるのは江戸城や大阪城、熊本城に代表される「平山城」。続いて、二条城や名古屋城、広島城などの「平城」。そして天然の要塞ともいえる険しい山に造られた「山城」だ。

この山城の魅力に取りつかれた男たちが丸二にいる。きっかけはなんだったのだろう。

「丸二で経営指導を行う先生が、山城が好きで国内の山城を巡られていたんです。そこに歴史好きの面々が誘われて一緒に行くことになって」と鈴木康之は語る。山城にはほとんど建物が残っておらず、素人が見れば雑木林や藪にしか見えない。見どころは土塁や堀、石垣がメインになるので、見方や楽しみ方を教えてくれる指南役の存在は欠かせないのである。

実際の山城を目にすると、話を聞いてイメージしていたものとはスケール感が違い、想像力が刺激される。山川公一は「現代のように重機がない時代、どうやって土を掘ったり盛ったりしていたのか。頭の中で作業の工程を思い浮かべていました」と思い返す。

山頂や山腹などの地形を利用してつくられた山城は、敵からの攻撃を阻害できるという利点がある反面、建設する際の作業の困難さというデメリットがある。立石光は「当時の土木技術や土地造成技術に思いを馳せると、改めてその凄さが実感できる」と舌を巻く。普段から建築工事に携わっている丸二の面々だからこそ、一般の人たち以上に想像力が働くのだ。

埼玉県比企（ひき）郡の山城は人気スポット

丸二で「山城めぐり」を始めたのは、今から4年ほど前だ。事前に自分たちで歴史の資料を作成し、スケジュールを立て、年に2回から3回ほど、近場の山城に足を運んだ。

丸二の山城愛好会が初めて向かったのは、埼玉県比企地域にある戦国時代の菅谷館跡、杉山城跡、小倉城跡、松山城跡だった。北条氏の軍事上重要な場所で、東京から近いこともあり、山城マニアに人気の場所でもある。「どこまでが元の地形か、わかりづらい所はあるんですが、明らかにこの崖は掘っているなという痕跡があったりする。人力でやったらどのくらいかかるのか、想像するだけでワクワクしますね」と鈴木は目を細める。杉山城跡のスケールの大きさに感動した埼玉在住の山川は、家族を連れてもう一度散策したほどだ。

立石は「僕は徳島県出身で、窓を開けると目の前に山があり、子どものころは『陣取りごっこ』をしながら野山を駆け回っていました。元々歴史好きだったというのもあり、初っ端から山城歩きにはまりました。どこで待ち構えて敵方を攻めるのかなど、現地を歩きながら敵味方の攻防をシミュレーションしたりするのも面白いですね」と目を輝かせる。山城めぐりは、歴史好きはもちろん、戦略を考えたり、もの作りが好きな人もきっと楽しめるはずだ。

縄張り図*などをはじめ工程表など事前準備は欠かせない

＊縄張り図：現状の遺構から曲輪や防御施設の配置を読みとり、城の構造をわかりやすく示した図面

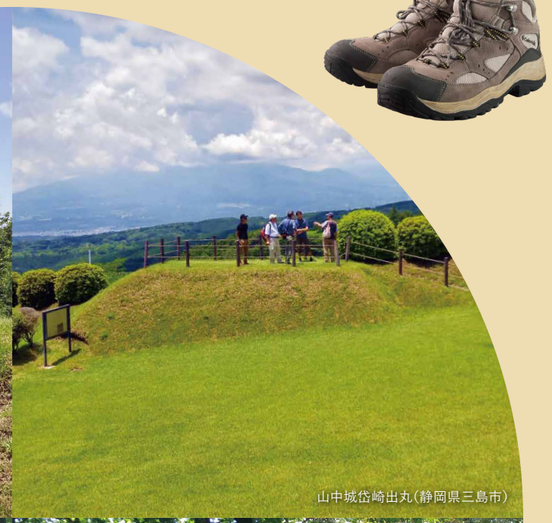
双眼鏡は七つ道具の一つ

雑木林は高低差が激しい場所が見ていて面白い

鈴木 康之（SUZUKI Yasuyuki）
神奈川県出身／工事部。工事中の現場が安全に遂行されているかなど管理全般を担当

ビブラムソールの登山靴で安全を確保する

山中城（静岡県三島市）



山中城岱崎出丸（静岡県三島市）

小幡城（茨城県茨城町）

小幡城（茨城県茨城町）

堀がきれいに見える方が本丸を把握しやすいです

山川 公一（YAMAKAWA Kimikazu）
岩手県出身／工事部。設計事務所からきた図面の見積もりなどをまとめる業務を担当

思い出深いのは静岡県「山中城」の障子堀です

A.T.
徳島県出身／建築部。建築部全体の管理をしながら、自らも精力的に現場をこなす

Message

丸二の人造り

代表取締役　渡辺 偕規

建設業とは、人の心と、人の手で、造り上げていく仕事です。
ほんとうの建物を建てるためには、良き人の心と、良き人の手が必要です。
ほんとうの丸二は、良き人を造る会社です。

どの企業でも人材教育は行われています。けれども、その真の目的は、「利益を生み出すための人材育成」というのが実際のところです。目的がそこにある以上、本質的には、本来の顧客志向から離れていくものです。ほんとうの人材教育とは、その社員一人ひとりが、より良い人生を歩む道標を示すことだと思います。良い人生とは何か。幸せとは何か。生きるとは何か。仕事とは何か。これらを道理通りに学びながら、仕事面や生活面で実践していくこと、自分自身の経験にしていくことです。良い仕事をすると、人生も良くなる。お客様に喜ばれると、自身の喜びの糧になる。このような原理原則を経験的に学び続けることによって、自身の向上心や研究心もさらに高まり、お客様に喜ばれ、社員自身も成長し、共により良く幸せになっていくと思います。そして、結果として、会社の発展にも寄与します。

社内で、「丸二の世界一ってなんだろう」と質問すると、なかなか確かな答えが返ってこないのですが、皆、小さな声で、「でも、人柄は良い方かも」と言います。私は、この「人柄」こそを最も大事にしたいのです。人柄は数値化できるものでもなく、なんとなく感じさせるものですが、その人間の芯に確固たる「何か」がなければ、「人柄が良い」とは言われないものです。ある意味、最も厳しい判断基準とも言えます。だからこそ、私たちは「人柄」と「社風」を大事にしています。なんとなく感じさせるもの。ここに本質があると思うからです。

要するに、逆方向へいく発想です。稼がせるための社員教育ではなく、社員の人生のための社員教育への道です。大きく遠回りのように見えます。けれども最終的には、お客様の喜びと社員の幸せとが、正しく交差する場所へ導いてくれると信じています。特に建設業の場合は、デジタル化、マニュアル化、オートメーション化が進んでいる他産業に比べると、「人」への依存度が未だに相当高い産業です。要するに、まだ原始的、アナログ的な面が多いのです。これは一見、マイナスのように見えますが、私たちにとっては、むしろ宝の山であり、最大の成長分野とさえ思います。

丸二には「22M（ニコニコ・ミーティング）」という、社長と社員の一対一の場があります。これは、社長が社員の近況、体調、悩み事、心配事などを聞きながら、お互いに認識を共有していく場です。要するに、業務上の打ち合わせではなく、人と人としての、思いの共有を目的としています。社員が本当にお客様のために努力するためには、社員の心に刺さっている小さな棘を取ることが大事です。この棘は、社員の棘であると同時に、会社の棘でもあります。社長も社員も、共により良い心の状態を保ちながら、お互いに人としての成長を目指していくことが、お客様の喜びと、社員の幸せを実現していくと思います。

縦軸に「人柄」を、横軸に「技術」を。

経営理念

自然との総和に徹し、自然の恩恵に
感謝できる会社造りを目指す。

正直・安心・安全に徹し、より良い建物造りに
高揚できる会社造りを目指す。

社長を核とし、社員の人格造りに徹し、広く明るく社会に
貢献できる会社造りを目指す。

CREDO

丸二の私は、

日々最善を尽くし、自らの良心に従って、より良く変わり続けます。

厳しい現実を直視し、自らの努力で乗り越え、進化向上し続けます。

依存心を捨て、人として自主自立し、自ら思考し、自ら行動します。

20220819

防災コラム

三陸地方の言い伝え 津波てんでんこ

「てんでんこ」は、「めいめい」を意味する「てんでん」に、東北方言の「こ」が付いた言葉。つまり「津波がきたら、各々、一人で逃げろ」という意味です。いざという時、自分の命を守れるのは自分しかいないかもしれません。それでも、丸二は少しでもお客様や地域の皆様の防災にお役に立ちたいと思っています。その一環として「ウチの防災大丈夫？ わが家チェックシート」をダウンロード配信中です。地震への備えは万全ですか？ 改めて点検してみましょう。

地震対策チェック

☐ わが家はいつ建てた？	1981（昭和56）年5月までに完成した建物は旧耐震基準です。 耐震補強工事を検討しましょう。
☐ 照明や掲示物が落ちてこないように！	天井から吊っている照明器具、壁の掲示物（絵画等）が落下しないように、2箇所以上で固定しましょう。
☐ 家具の転倒防止を！	転倒防止金具などを付けて固定しましょう。背の高い家具は特に！ 食器棚などの扉には、耐震ラッチを付けましょう。
☐ 寝室の安全は大丈夫ですか？	寝ている周辺に、落ちそうな物や倒れそうな物はありませんか？ 動きそうな家具は転倒防止対策をするか、他の部屋へ移動しましょう。
☐ ブロック塀は倒れないかな？	塀に割れやヒビがある、高さが2.2m以上、控え壁（塀と直角の支え）が無い場合は危険です。
☐ ガスの復旧方法は知ってますか？	都市ガスの場合はガスの復旧方法を事前に確認しましょう。 プロパンガスはボンベが倒壊しないようしっかり固定しましょう。
☐ 消火器を置きましょう	消火器の有効期限を確認しましょう。 家族全員が、消火器の場所や使い方を把握していることも大切です。
☐ 非常口周辺はスッキリと	非常口の周辺に障害物がないか確認しましょう。閉じ込められることも想定し、内部から開けられるバール等を準備すると安心です。
☐ スムーズに避難できますか？	通路には物を置かずに、すれ違える幅を十分に確保しましょう。 避難時には火元を確認し、ブレーカーを落としてから避難しましょう。
☐ 停電対策は十分ですか？	懐中電灯、ローソク、家庭用ソーラー充電器などの準備をしましょう。 取り出し易い場所への設置も大切です。

こちらのQRコードからぜひチェックしてみてください。
地震対策の他にも、台風や豪雨、火事などの対策チェックも記載してあります。

編集後記

「ほんとうの、まるに。」というタイトルには、2つの意味があります。

一つ目は、私たち一人ひとりの多彩な個性、マニアックな専門性などを紹介することで、会社全体のイメージとはまた一味違う、「ほんとうの丸二」を知っていただきたいとの思いです。丸二は、様々な個性が有機的に化学反応を起こしながら、ひとつの大きな青い照明となって、社会を優しく照らし続けたいと考えています。

二つ目は、私たち一人ひとりが、「人として、ほんとうの〇（まる）になる」という意味です。三角でも四角でもなく、いびつな丸でもない、正真正銘のまん丸になること。傷や欠けのない、美しく青き〇になることの意味です。今が小さな〇でも、多少の角があってもいい。時間をかけて、年輪のように、ゆっくりと大きな〇へと成長していくこと。このような私たちの隠れた思いの比喩です。

丸二の一人ひとりは、このようにして、様々な個性を持っていますが、ただ1つの共通点は、皆が、ほんとうの〇になろうと、愚直に前進しているところです。もちろん、真に完成された〇には、永遠に辿り着けないと思います。けれども、少しずつでも、近づいていくプロセスを見て欲しいと思います。「ほんとうの〇」を目指し続ける「ほんとうの、まるに。」を、今後も何卒見守ってください。ありがとうございます。

ほんとうの〇を追求し続ける会社が、ほんとうのまるにです。

株式会社 丸二　代表取締役 渡辺 偕規

ほんとうの、まるに。
2022年10月8日

発行人　株式会社 丸二
代表取締役 渡辺偕規
東京都武蔵野市吉祥寺本町1-35-1
Tel:0422-21-3211（代表） Fax:0422-22-6611

制 作　ぶんしん出版
東京都三鷹市上連雀1-12-17 三鷹ビジネスパーク
Tel:0422-60-2211 Fax:0422-60-2200

印刷・製本　株式会社 文伸

Printed in Japan ©2022 MARUNI Co.,Ltd. All rights reserved.
本書は、著作権上の保護を受けています。
本書の一部あるいは全部を無断で複写・複製・転記することは禁止されています。

進行管理	鈴木誉士（丸二）
営 業	三浦玄紀（文伸）
編 集	稲富能恵（ぶんしん出版）
ライティング	篠原克周（篠原編集ライター事務所）
校 正	船木さとこ（ぶんしん出版）
AD	荒井良隆（文伸）
表紙デザイン＋デザイン	高島亮三
撮 影	鈴木智哉（キリンニジイロ）
〈文伸〉	
工 務	有馬靖了
製 版	古賀賢
印 刷	島田孝一郎
製 本	佐藤真 丹伊田裕子 丸山純司
SPECIAL THANKS	カングロ株式会社 藤井啓人 森夕花

株式会社 丸二
お問い合わせ お客様サポートセンター
0120-020-987
【受付時間】月～金（祝日除く）8:00～17:00

株式会社 丸二 公式Webサイト

RCフォレストは こちらから

丸二のリフォームは こちらから